

令和2年中

# 愛知県 住宅ドロボウの

# 実態と 対策



家族構成

家族の出勤時間

家の間取り

現金の保管場所

了件夕ロウ方(4人)

- 夕ロウ(小)暇) - 飲食店  
工日在宅 - A6時 - P8帰宅
- 妻(不働) - ハート  
A9時 - P4帰宅
- 息子(専対) - 大学 - P17  
A10時 - P6帰宅  
日不居: 夕777
- 娘(不働) - 高校生  
ABA時 - P5帰宅  
隣家 → 犬(茶中型)

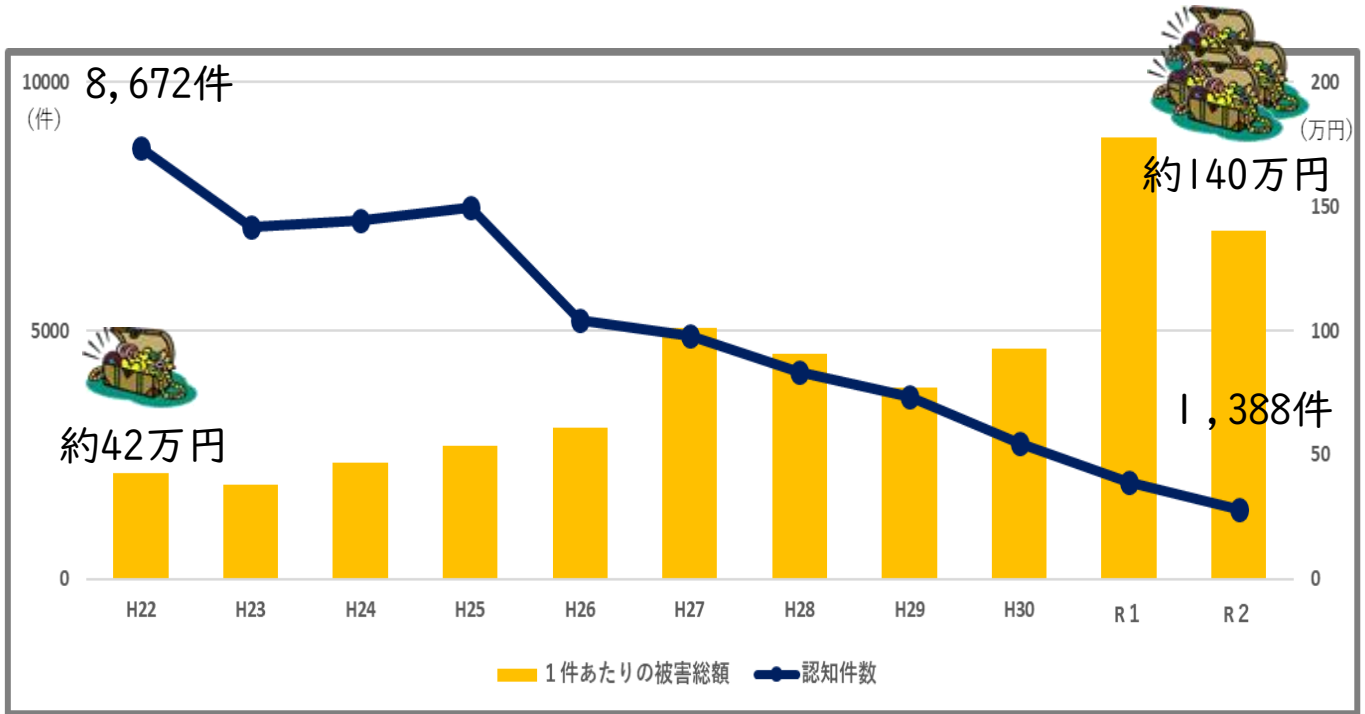


愛知県警が検挙した組織窃盗グループに対する捜査で、ターゲットとなった被害者の家族構成、行動歴、自宅内外の見取図など詳細に調べ上げたメモが発見される

※メモの画像はイメージ

# 実態編

## その① 認知件数は減少傾向、1件あたりの被害総額は増加傾向



過去10年間の住宅対象侵入盗認知件数と1件あたりの被害総額の推移

愛知県の令和2年中の住宅を対象とした侵入盗の認知件数は1,388件で、1件あたりの被害総額は約140万円でした。

認知件数は年々減少傾向にあります。1件あたりの被害総額は近年増加傾向にあります。

被害品は、現金のみならず、自動車、宝飾品、テレビ、パソコン、バッグ、衣類など多岐にわたります。

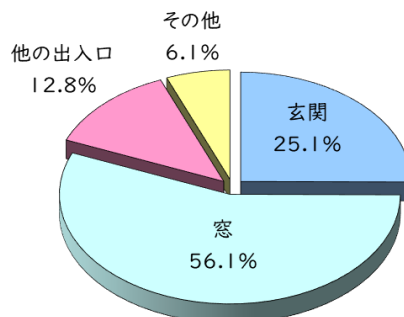


散乱物色された被害現場写真

## その② ドロボウの約60%は窓から侵入

住宅に侵入するドロボーの多くは、窓から侵入しています。

無締まりの窓や、ガラスを破って侵入しています。

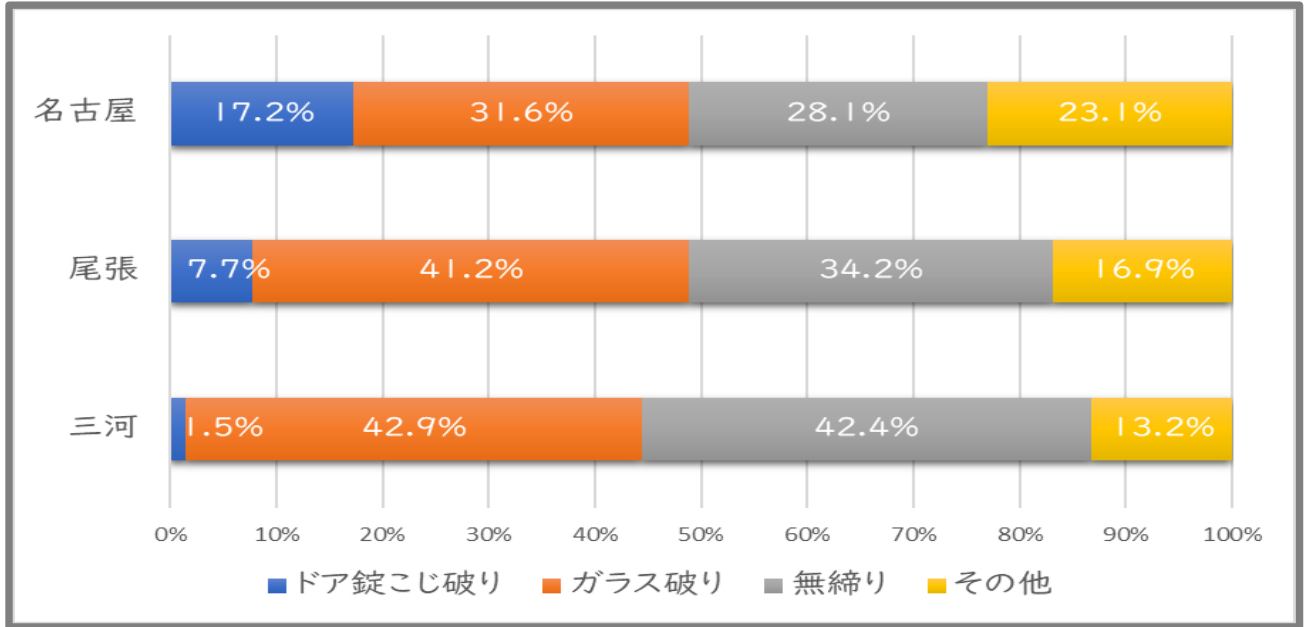


侵入場所の割合



ガラスが破られた被害現場写真

### その③ 名古屋市、尾張地域では建物部品を破壊、三河地域では、無締まりによる侵入割合が高い



地域別住宅対象侵入盗侵入手口の割合

愛知県では、組織窃盗グループが多用するドア錠こじ破りによる侵入手口が全国総数のうちの約41%を占めています。

名古屋市では、そのドア錠こじ破りによる侵入手口の割合が高くなっています。



## 対策編

### その① 防犯の4原則に即した対策が基本 犯行に時間をかけさせ、光や音で周囲に知らせる

**時間**

侵入に時間をかけさせましょう！

**光**

家の周りや室内を明るく！

**音**

警報機、防犯砂利等で周囲に侵入を知らせる！

**地域の目**

住民同士の連携、不審者への声掛けを！



## その② 窓の施錠は確実に！補助錠も活用

出かける前、就寝前には必ずカギをかけましょう。

補助錠は、サッシの上部に取り付けると、より効果が得られます。



上部に付いた補助錠は、外からだ手が届きにくい…



## その③ 玄関ドアにはガードプレートを設置

ガードプレートは、ドアの枠とドアの隙間をふさぐプレートのことです。バール等の工具によるこじ入れを難しくします。

※建材メーカーによっては、純正以外の防犯設備を後付けすると保証期間内であっても対象外となる可能性がありますので、設置の際はメーカー等に確認してください。



ガードプレート

組織窃盗グループ対策

## その④ 機械警備による早い段階で異常を知らせるシステム構築

ドロボウは犯行中に大きな警報音がしたり、人に見られたり、通報されることを嫌います。侵入検知センサーを敷地内の複数箇所に設置する等、早い段階で異常を知らせることが大切です。



組織窃盗グループ対策

## その⑤ 個人情報の取扱いには細心の注意を払う



組織窃盗グループが個人情報を綿密に収集した上で狙い撃ちに行っている実態があります。住所や行動が特定されるようなSNSは投稿しない。他人に個人情報（自己資産）を必要以上に話さない。第三者を自宅に招き入れる際には貴重品等を目に触れさせないようにしましょう。

組織窃盗グループ対策

愛知県警察公式アプリ

『アイチポリス』

お住まいの地域で発生した犯罪情報や不審者情報をタイムリーに配信します。アプリのインストールはアプリストアから検索または右のQRコードから！

アイチポリス

検索

QRコード  
(カメラで読み込む)



iOS端末  
(iPhone等)



Android端末

